

マウンテンバイクツーリング

- 開催日 2019年8月8日～8月10日
- 会場 山梨県 富士五湖周辺
- ディレクター名 小澤潤平（アポロ）

■キャンプのねらい

- 挑戦することを通して「やればできる!」「私たちってすごい!」という自信と達成感を得る。
- 仲間とともに一生懸命に取り組み、新しい発見と大きな感動を感じる。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

にっき、まっく、モナカ、まいまい、がみがみ
ざいざい、るん、よもち、ぽてと

■活動内容

- <1日目>
集合、移動
河口湖到着、路線バスで西湖へ移動
マウンテンバイク練習
マウンテンバイクツーリング①
（西湖野鳥の森～本栖湖）
テント設営、夕食作り、夕食
作戦会議
- <2日目>
マウンテンバイクツーリング②
（本栖湖～精進湖～西湖～山中湖）
作戦会議
- <3日目>
マウンテンバイクツーリング③
（山中湖～忍野八海～河口湖）
移動、解散



河口湖に到着！現地集合の子も合流してまずは顔合わせ。



スタート地点の西湖野鳥の森へ。マウンテンバイクの練習中。



準備を整えてスタート！初日は練習で10kmの道のり。



下り坂で余裕の表情。でも下り坂があるということは明日は登り！



今日のご飯はハヤシライス。みんなで調理しました。



夜はみんなでミーティング。明日の行程を確認します。



2日目は本栖湖～精進湖～西湖～山中湖を目指します。



チェックポイントではしっかりと水分補給。



「湖にタッチ！」が課題なのですが、水の掛け合いが始まります。



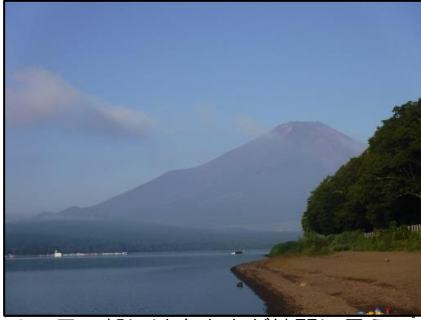
湖毎に特徴があり、2日目最後の山中湖では白鳥に出会いました。



キャンプ場についたら、早速テント設営。みんな慣れてきました。



夜にはこの日誕生日の子のお祝いもしました。スイカのプレゼント！



3日目の朝には富士山が綺麗に見えました。河口湖を目指します。



よく晴れていたなので、テントも湖畔に干せばあっという間に乾きます。



富士五湖+1として、忍野八海にもタッチ！滝が綺麗でした。



みんな無事にゴールである河口湖にたどり着きました。いい顔です！



休憩時にはみんなぐったり。よくがんばりました。



最後の振り返りをして、温泉に立ち寄り帰りました！気持ちいい！

■キャンプのエピソード

「湖にタッチ！」

今回の富士五湖でのマウンテンバイクツーリングの課題の一つとして、ただ決められたコースを走るだけではなく「5つの湖全てをタッチする」ことも挑戦の内容としてました。そうすると、「本栖湖と精進湖、西湖はとても水がきれい！」と話している声や「河口湖はなんだか水がにごっている」といった発見する声を聞くことがあり、自然環境へも目を向けるきっかけになっていたようです。

そして毎回起こるのが、水の掛け合いです。最初は少し濡れる程度でしたが、後半になるとみんなで大騒ぎしながら湖畔で遊んでいました。富士五湖ではありませんが、今回は忍野八海から流れる「鐘山の滝」にも立ち寄りました。湖ではありませんが、滝にもタッチをして、富士五湖+1を満喫することができました。

「足をつかないポリシー」

初日はマウンテンバイクの練習で西湖野鳥の森公園から本栖湖の10km移動しましたが、その道はほぼ下り坂。今回のルートは進んだ道に戻るような設定なので、2日目の前半は登り坂がメインとなります。子どもによっては、「この坂を一度も足をつかずに登る」という子もいれば「自分が進めるだけ進んで、あとは押していく」という子もいます。それぞれのがんばりを尊重しながら、各チームのペースで進んでいきます。

しかしキャンプ場につくと、足をつかないで登れることがリスペクトされ、「明日は足をつかないように登る」という目標を持つ子が増えていきます。「できなかったことをできるようになりたい」という向上心が、子どもに芽生えます。富士五湖を完走した子どもたち、3日間の中で大きな自信をつけて帰ることができました。